

定置網漁況からみた相模湾の生産性に関する考察 - 3 価格分布による生産者魚価の動向

木 幡 孜・江 川 公 明・菊 池 康 司

ECONOMICAL PRODUCTIVITY IN SAGAMI BY SET NET - 3

The trend of producer's price of fish by the frequency distribution of price.

Tsutomu KOBATA*, Kimiaki EGAWA** and Koji KIKUCHI**

はじめに

一般に、食用魚を区分する評価法として高級魚とか大衆魚といった表現が用いられている。しかし、これらの区分はかなり感覚的なものであり、明確に定義付けたものは見当たらない。

前報(木幡 1979a, 1979b)で、1953~1977年の資料を解析し、同一仕向の価格の分布が対数正規分布に近似すること、生産者魚価の価格帯は価格分布の平均値 $\pm n$ 標準偏差で定義できること、およびこれらの手法は漁業の経済的生産性の課題抽出に有効であること等を明らかにした。

本報では、1978~1991年の資料を追加して生産者魚価の動向を解析し、現在の問題点を明らかにすること、問題点をより明確にし、高付加価値化の理論的根拠を得るため、価格帯の区分を生鮮食用仕向を基準に修正して提示すること、および魚価変動の背景的要因を考察すること等を目的とした。

本文に入るに先立ち、資料の閲覧と種々の情報のご提供を頂いた共栄定置経営組合と同組合の榎本一雄・松本朝男の両氏をはじめとする相海漁業の職員の方々に厚くお礼を申し上げます。

資料と方法

資料の収集集計方法は前報に準じた。すなわち、相模湾奥部の小田原市米神地先に張り建てられている米神大型定置網は、周年操業で湾内有数の漁業生産を行っており、漁獲物の殆どを小田原魚市場に水揚げしている。同

定置網の経営体は魚市場の仕切り伝票と別に、より詳細な売上日報を1953年から記録し続けており、これによって種別銘柄別の揚網時毎の価格と漁獲量を知ることができる。また、主たる水揚げ漁港である小田原魚市場は、1960年代前半までは産地市場の性格を有していたが、その後陸送物が急増し、近年はその取扱額が9割強にも達する消費市場に変わっている。

今回解析の対象とした主な資料は、米神漁場売上日報から得た種別銘柄別の年平均価格(円/kg)と年間漁獲量(t)である。したがって、解析結果は小田原地方の動向が中心になるが、現在の流通圏が多くの品目で全国規模に拡大していることから、得られた結果の趨勢は広域的な代表性を有するものと考えられる。またこのことに基づき、魚価動向の要因解析に当たっては、わが国の食料需給関係から考察する。

なお、同売上日報には網の流出による長期の欠測や低価格魚の大量逃がし等がある。このため、前者については最寄りの定置網の売上日報で、後者については日報に記載されている概数で原資料を補完した。また、魚種名は銘柄が単一種の場合カタカナで標準和名を、複数種を含む銘柄の場合ひらがなで地方名を示す。

結果と考察

1. 価格分布の長期変動

付表に1978~1991年の種別銘柄別年平均価格を示す。これは前報(木幡 1979b)の1953~1977年に続くものとして作成した。これらによると、同一種・同一銘柄でも価格にかなりの年変動が認められる。このため、価格

分布の長期変動傾向は2ケ年平均価格で検討する。

付表から求めた価格の度数分布と階級毎の漁獲量を表1と図1に示す。ただし、階級幅はモード以上の階級数を増すため、前報の1/2とした。これらにより、価格分布の形とモードの変化に注目する。

図1に見るように、価格の度数は1953・'54~1955・'56年までの2区分がモードを中心にほぼ左右対象に分かれ、対数正規分布に近似した。1957・'58年以降はモードが変化し、これに伴いモードの下位階級で裾野を広げ始めた。この傾向は1969・'70年以降さらに顕著となり、現在に至っている。

このように、分布の形は1953・'54~1955・'56年、1957・'58~1967・'68年、1969・'70年以降の3年代に大きく分かれる。これらを前期・中期・後期と呼ぶことにする。各期の特徴は既に前報で詳述したように、前期

は漁獲物の殆どが生鮮食料仕向であった年代、後期はその大半が加工原料・非食用仕向に定着した年代、中期が両者の過渡期の年代に相当する。また、漁獲量の分布に明らかのように、各期の漁業経営は前期の安定年代から中期の不安定年代へ、そして後期の長期に亙る低迷年代にそれぞれ対応している。

一方モードは、前期が 10^2 階級、中期が1961・'62年の一時的な下降を除いて $10^{2.25}$ 階級というように、この期間で緩やかに上昇した。これに対して後期は、1969・'70年に $10^{2.75}$ と一挙に2階級上昇し、1973・'74年までの3区分続いた。そして、1979・'80年までの3区分が 10^3 階級、1983・'84年までの2区分が $10^{3.25}$ 階級へ上昇した。しかし、これを最高値として1985・'86年から1989・'90年までの最近の3区分は 10^3 階級へと明らかな下降を示した。

表1 価格の度数表と階級別漁獲量t()内

$\log_{10}x$	範囲 円/kg	1953・'54	1955・'56	1957・'58	1959・'60	1961・'62	1963・'64	1965・'66	1967・'68	1969・'70	1971・'72
0	0.76 ~ 1.3										
0.25	1.4 ~ 2.4										
0.5	2.5 ~ 4.2	1 (4)			1 (2)		1 (1)			1 (226)	
0.75	4.3 ~ 7.5	1 (1)			0 (0)		2 (0)		1 (0)	2 (5)	1 (6)
1	7.6 ~ 13	1 (0)	1 (6)	4 (23)	7 (36)	3 (52)	1 (3)	2 (1)	4 (9)	4 (35)	1 (526)
1.25	14 ~ 42	5 (64)	7 (37)	5 (12)	4 (1)	6 (84)	4 (53)	3 (53)	3 (76)	4 (3)	8 (221)
1.5	25 ~ 42	1 2 (796)	1 3 (127)	1 1 (830)	1 0 (464)	1 1 (119)	1 0 (81)	6 (52)	2 (56)	8 (58)	3 (27)
1.75	43 ~ 75	1 6 (50)	1 9 (363)	2 0 (15)	1 5 (33)	1 3 (595)	1 6 (539)	1 7 (118)	1 6 (153)	9 (76)	1 7 (252)
2	76 ~ 133	3 4 (1329)	3 2 (786)	2 2 (18)	2 5 (7)	2 9 (31)	2 1 (5)	1 2 (5)	1 6 (66)	1 4 (149)	1 2 (41)
2.25	134 ~ 237	2 2 (18)	2 2 (17)	2 9 (1058)	3 1 (401)	2 8 (330)	2 7 (75)	3 7 (259)	3 0 (326)	2 2 (268)	1 5 (5)
2.5	238 ~ 422	1 3 (8)	1 3 (9)	1 5 (7)	1 9 (6)	1 7 (12)	2 3 (96)	2 8 (240)	2 7 (22)	2 7 (56)	2 4 (256)
2.75	423 ~ 750	2 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (6)	8 (5)	1 0 (4)	1 3 (5)	1 8 (13)	3 3 (46)	3 1 (19)
3	751 ~ 1334	1 (0)	1 (0)		1 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	5 (1)	9 (2)	2 1 (200)
3.25	1335 ~ 2371							1 (0)	2 (0)	3 (0)	5 (0)
3.5	2372 ~ 4217										1 (0)
3.75	4218 ~ 7499										
4	7500 ~ 13335										
M		2	2	2.25	2.25	2	2.25	2.25	2.25	2.75	2.75
n-1		0.3519	0.3305	0.1990	0.2655	0.4256	0.3248	0.3493	0.4067	0.2165	0.2728

$\log_{10}x$	範囲 円/kg	1973・'74	1975・'76	1977・'78	1979・'80	1981・'82	1983・'84	1985・'86	1987・'88	1989・'90	1991
0	0.76 ~ 1.3								1 (19)		
0.25	1.4 ~ 2.4								0 (0)		
0.5	2.5 ~ 4.2								1 (27)	1 (10)	
0.75	4.3 ~ 7.5	1 (2)	1 (33)		1 (2)	3 (24)	1 (3)		0 (0)	0 (0)	1 (0)
1	7.6 ~ 13	2 (1)	2 (21)	3 (253)	3 (77)	1 (2)	1 (290)	2 (12)	1 (494)	1 (10)	1 (114)
1.25	14 ~ 24	3 (140)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (35)	3 (574)	4 (92)	2 (90)	3 (4)
1.5	25 ~ 42	7 (417)	4 (123)	3 (300)	5 (476)	2 (80)	3 (148)	5 (155)	3 (218)	4 (212)	6 (257)
1.75	43 ~ 75	7 (112)	6 (225)	8 (157)	4 (76)	4 (83)	2 (0)	7 (50)	9 (198)	9 (196)	8 (109)
2	76 ~ 133	1 2 (271)	1 0 (6)	1 4 (206)	1 1 (213)	4 (8)	7 (195)	1 4 (290)	1 3 (68)	1 5 (154)	8 (8)
2.25	134 ~ 237	1 3 (6)	1 8 (88)	7 (8)	8 (15)	1 7 (145)	7 (224)	1 7 (76)	1 3 (47)	1 0 (32)	1 1 (364)
2.5	238 ~ 422	1 6 (1)	1 7 (4)	1 7 (16)	2 0 (12)	1 9 (8)	1 4 (1)	1 7 (7)	1 5 (12)	1 1 (134)	1 1 (65)
2.75	423 ~ 750	3 7 (303)	2 3 (16)	1 8 (7)	8 (3)	1 5 (6)	1 7 (4)	2 4 (20)	2 7 (271)	3 1 (33)	2 4 (29)
3	751 ~ 1334	2 0 (8)	3 2 (226)	3 0 (65)	3 1 (110)	2 5 (25)	2 8 (22)	3 5 (124)	3 2 (31)	3 2 (94)	1 9 (40)
3.25	1335 ~ 2371	1 1 (14)	2 1 (14)	2 3 (60)	2 7 (44)	3 3 (21)	3 0 (19)	3 1 (24)	2 8 (28)	2 8 (19)	2 3 (8)
3.5	2372 ~ 4217	3 (0)	7 (2)	1 3 (1)	1 2 (9)	1 3 (7)	2 0 (6)	8 (12)	1 9 (10)	2 5 (14)	3 0 (18)
3.75	4218 ~ 7499		1 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	5 (1)	6 (0)	5 (0)	9 (1)
4	7500 ~ 13335		1 (0)		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	3 (0)
M		2.75	3	3	3	3.25	3.25	3	3	3	3.5
n-1		0.3307	0.3188	0.3327	0.3341	0.2421	0.2580	0.3536	0.4244	0.4372	0.2226

このように、価格分布にみる生産者魚価の経年変化は中期の緩やかな上昇年代と後期の1983・'84年までの急昇年代に分かれる。ただし、これらの年代の価格上昇は量産種を除く多数の少産種のみで起こっており、このことが経営不振の主要因になっていた。これらの特徴は前報で詳述したとおりである。

これに対して、1985・'86年以降のモードの下降は調査対象期間の中で初めて起こった現象である。このことは、価格低下が食用仕向の少産種を含む全ての価格帯に及び始めたことを示すと共に、前報の結論を覆す事態が発生していることを意味している。

また、調査期間内の最低階級は 10^0 であり、これも最近の1987・'88年に出現していること、および 10^2 階級付近の度数が1985・'86年以降増加傾向にあること等、低価格の銘柄についても下位階級への移行が近年進んでいる。反面、 $10^{3.5}$ 階級以上の度数が近年増加傾向にあり、高価格の銘柄は依然として価格上昇を続けている。なお、表1に示した1991年の度数分布を見ると、単年度の値であるが、モードは一挙に2階級上昇して $10^{3.5}$ 階級へ移動した。これが次の新たな変化の前兆であるのか否かは不明である。

何れにしても、1985・'86年以降の度数分布は不安定

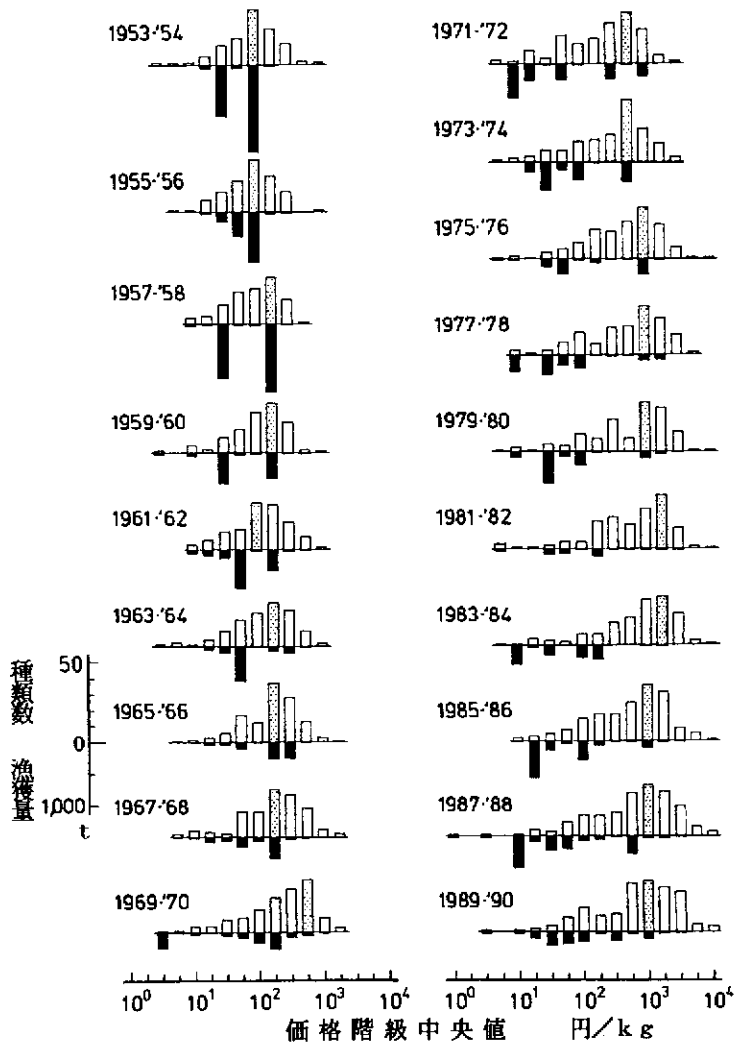


図1 種別銘柄別生産者魚価の分布と価格階級別漁獲量の経年変化

になっている。このことは、前報で指摘した価格変動の法則性の一部に変化が起こっている可能性を示唆している。すなわち、加工原料と非食用仕向群の価格が停滞し続けるという現象に変わりはない。しかし、生鮮食料仕向群の価格が物価上昇に準じて変動するという現象は明らかに乱れており、その様相は恰も競り値の基準に混乱が生じたような印象さえ与えるものである。

以上の如く、今報の期間で注目されるのは1985・'86年以降に顕在化した現象であり、ここに焦点を置いた解析をさらに進める。

2. 主要種生産者魚価の経年変動

前項でみた現象を種別の価格変動から検討する。ただし、前報および付表に示す価格は銘柄別で年変化が大きく、かつ欠測が多い。これは年令組成の年変動、および銘柄区分に売上日報記帳者の主観が入るためと考えられる。したがって、ここでは、種別の値のみで変動傾向を見ることとする。

図2に、資料が継続している種類の価格の経年変化を、低～高価格帯を網羅するものとして図示した。これによると、種別価格の経年変動傾向は、大きな資源変動に伴う横這い上昇型のさばと横這い下降型のウマヅラハギを例外として、一般の種類は上昇下降型・上昇横這い型・上昇型の三型に大別される。

上昇下降型の種類は、さめ・ウルメイワシ・いわし・ヤマトカマス・アカカマス・マルソーダ・マアジ・ブリ・クマエビ等であり、低価格帯から高価格帯の種類が含まれる。また、上昇横這い型の種類は、やがら・めじ・サワラ・たい・ホウボウ・ヒラメ・メイタガレイ・イシダイ・カワハギ・ウスバハギ・スルメイカ・コウイカ・クルマエビ等であり、高・中価格帯の多くの種類が含まれる。そして、上昇型の種類は、はた・すずき・アオリイカ等の高価格帯の種類である。

ここで、上昇下降型の内さめとマルソーダは主な仕向が加工用であり、価格のピーク時も1975年と1977年というようにほぼ一致している。ただし、両種とも全期間の価格の変動幅は額面で100円に達していない。したがって、実質的にこれらは横這い型の種類といえる。いわしの種組成は1970年代後半からはマイワシ主体であるが、以前は他の複数種を含んでいる。価格のピークは1970年頃形成され、以後下降に転じた。これは周知の如くマイワシ資源の急速な増加に対応している。また、前記2種と同様に、価格の変動幅は僅かである。したがって、本

種も実質的に前記ウマヅラハギと同じ類型あるいは横這い型としてもよい種類である。ウルメイワシの主な仕向は、小田原地方の特色として、小型魚は加工用、中・大型魚は生食用に分かれる。図の年変動は主体をなす中型魚の傾向を反映しているものと考えられ、ピークを1984年に形成し、以後下降に転じている。ヤマトカマスとアカカマスの仕向は、銘柄によって高級焼き魚・揚げ物類・高級開き用と幅が広い。価格のピークは一般加工用と同じ1977年頃にみられ、しばらく横這い状態が続いた後、1985年頃を境に下降に転じた。マアジの仕向は当初の一般惣菜用と加工用から1965年前後を境に生食用に変わった。これと資源減少が相まって、価格は1985年までほぼ一貫して急上昇を続けた。しかし、1986年と1987年の価格は一挙に1/10以下まで下降するという大暴落が起こった。これは、1985年に対する漁獲量が1986年に20数倍、1987年に50倍と急増したことに対応する。その後、好漁の中で1988年の価格は一時的に1985年の1/3レベルに回復したが、1989年以降再び下降に転じた。

このように、マアジの場合も1985年が価格変動の変曲点になっており、そこに資源変動以外の要因が関与している可能性が高い。例えば、ブリとクマエビはマアジに類似した変化を示した。ブリの仕向は現在彼岸ぶりを含め主として生食用であり、価格は1978年までの上昇とその後4年の横這い、そして上昇という経過をたどり、ピークは1985年にみられた。しかし、1986年には1/3に下降し、翌1987年に値を戻したが、その後減少に転じている。クマエビはクルマエビと共に、当初最高価格帯付近に含まれ、価格上昇が続いた。価格のピークは1977年にみられたが、その後1985年まで横這いとなり、1986年の急落と1987年の回復、そしてそれ以降下降に転じた。ここで、ブリは依然として低い資源水準にあり、クマエビは希少種に近い漁業資源である。したがって、両種の価格変動は資源変動と殆ど係わりがないといってよく、輸入えびと養殖ぶりとの競合が直接的な要因になっている可能性が高い。また、両種の価格変動の変曲点は1985年のほか、1977～1978年に認められた。

上昇横這い型の類型は上昇下降型の変形と見ることができる。ここに含まれる種類の価格変動の変曲点は、めじ・サワラが1975年、やがら・たい・イシダイ・ウスバハギ・コウイカが1977年、スルメイカが1979年、メイタガレイ・カワハギ・クルマエビが1981年、ホウボウが1984年、そしてヒラメが1988年にそれぞれ認められた。

また、上昇型に3種を区分したが、これらの価格上昇率は一様でなく、前記2類型と共通した変動が近年認め

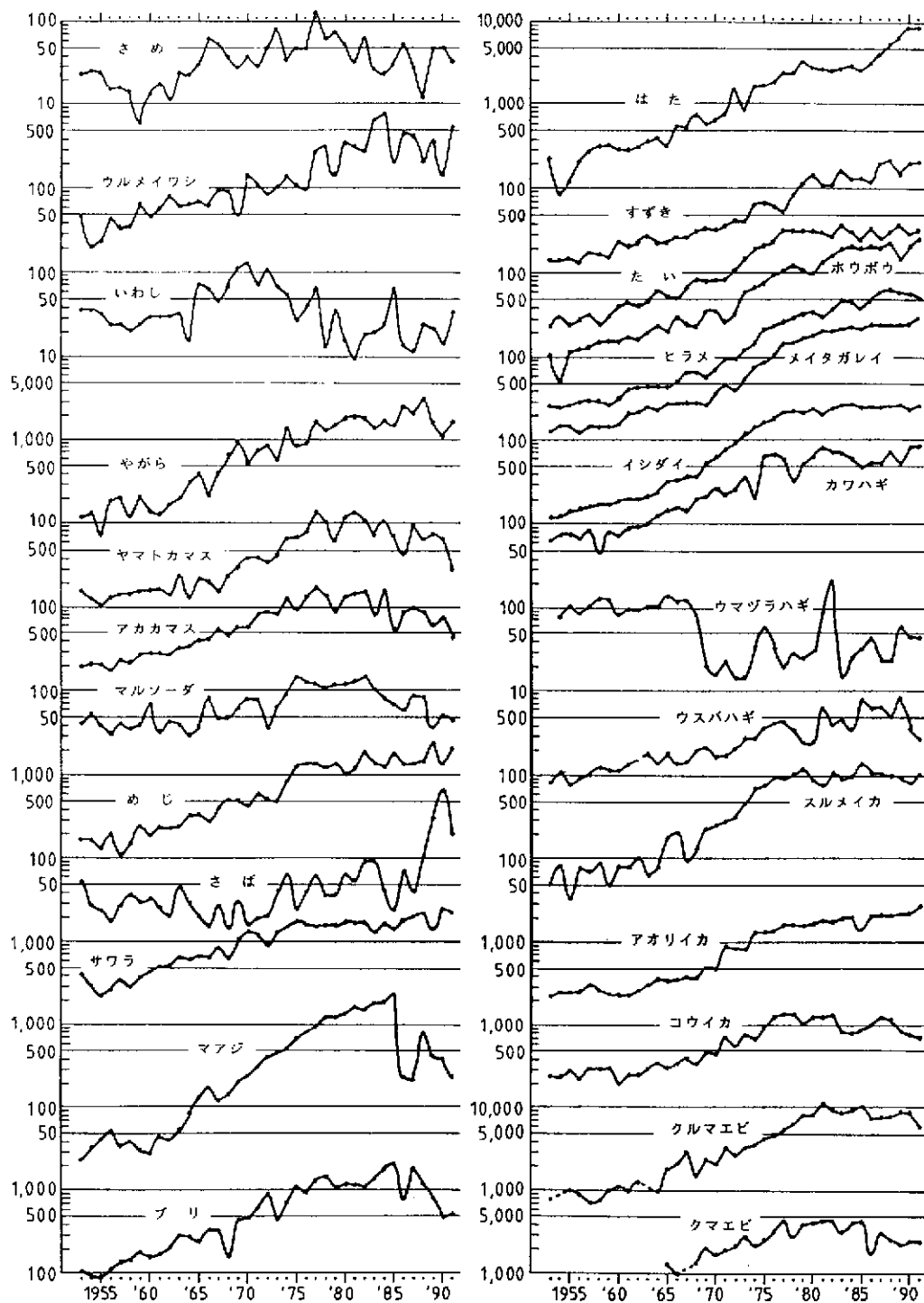


図2 主要種生産者漁価の経年変動 (円/Kg)

られた。すなわち、または1979～1985年の間、価格が停滞した。同じ様に、すずきは180～1986年の間、価格上昇が鈍った。そして、アオリイカも1977年を変曲点としてその後の増加率が低下している。

以上のように、近年の種別価格の経年変化は、一部の例外種や特殊な銘柄を除く全ての価格帯の種類が下降あるいは停滞し始めていることを示している。このような現象は前報の調査期間では全く認められず、生産者魚価の低迷は低価格帯の種類のみ認められる現象であった。これに対して、今回の調査で、中・高価格帯の種類価格低迷が過去40年間で初めて起こりつつあることが明らかになった。そして、その時期は価格変動の変曲点の出現頻度から、1970年代の後半と推定された。

3. 生産者魚価の価格帯による区分

前報（木幡 1979a）で、同一仕向の価格の分布が対数正規分布に近似することに基づき、価格帯を平均値 $m \pm n$ 標準偏差で定義し、そこに含まれる種名・銘柄を一覧で整理した。今回も同じ整理を行うが、一部修正して一覧を作成した。すなわち、図1に示したように、価格の分布型は1970年頃を境にモードの下位階級で据え置きが顕著になっている。このため前報の結果は、平均値が後半の期間で食用仕向と非食用仕向の中間の値をとっており、かつ標準偏差も過大になっている。ここでの特徴は食用仕向の価格帯にある。したがって、食用仕向の平均値が価格分布のモードMに対応し、かつモードの下位階級の度数が上位階級と同じ度数を示すものと仮定して、標準偏差を求めるとした。

各年次間のMとは表1の度数表の下段に示した。また、表2は調査期間を、第1項で区分した前期の例として1953・'54年、中期の例として1965・'66年、そして後期の例として1983・'84年の3期に分け、各期における $M \pm n$ の価格帯に含まれる種類と価格を一覧で示した。これによると、典型的な対数正規分布に近似した前期はモードを境に上下へほぼ均等に分かれ、94.3%の種類が $M \pm 2$ の価格帯に含まれた。そして、この年代の特異な低価格帯はM-4止まりであり、種類数も1.9%に過ぎなかった。これに対して、下位階級の据え置きが始まった中期とそれが定着した後期の年代は、 $M \pm 2$ の価格帯に含まれる種類数は前者で76.9%、後者で61.9%となり、経年的に減少している。そして、超低価格魚としか云いようのない特異な低価格帯はM-6以下にまで拡がり、M-4～M-6以下に含まれる種類数は中期

が9.1%、後期が21.6%となり、近年の増加傾向が著しい。

ここで、表2の中で対照的な価格帯の移動をした2銘柄に注目したい。一つはウマヅラハギの銘柄大うまでである。これは前期にM-1の価格帯に含まれていたが、中期にM-2へ、そして後期にM-5まで下降した。他の一つはマアジの銘柄あじである。これは前期にM-2の価格帯に含まれていたが、中期にM-1へ、そして後期にはM+1へ昇格した。このように、両銘柄は対照的な経年変化を示すが、前者の大うまは中期が資源増の初期、後期が資源増の定着期に対応している。一方、後者のあじは前期が一般惣菜用と塩干加工用の大衆魚、中期が生食用としての“たたぎ”の登場初期、後期がその定着期というように、主な仕向の変化に対応している。

この他、表2の各価格帯に含まれる種類から類推される高付加価値化の一般則は、餌飼肥料仕向<練り製品原料仕向<節・塩干加工原料仕向<一般惣菜仕向<鍋・刺し身仕向の順に大きくなると云ってよい。

以上のように、近年多くの種類の価格低迷と異常な低価格帯へ向けた種類の移動が顕著である。このような状況は既に生産現場でも直感されているようであり、生産物の高付加価値化対策が各方面の関心事になっている。表2はその目安を与えると共に、“目的魚の高付加価値化は価格帯のランクアップが基本的に重要である”という付加価値化の理論的根拠を提示するものである。

4. 水産物国内需給関係の経年変化

近年、異常な低価格帯の魚種が増えている。その要因は色々考えられるにせよ、基本的には需給バランスの問題に帰するであろう。本項では、生産者魚価の形成要因をマクロにとらえるため、水産物および関連食品の国内需給関係の変遷を検討する。

図3は水産物の主な仕向別と関連する食品と目される卵類・肉類の国内需給関係の経年変化である。ここで、輸出量=国内生産量(B)-同左国内消費仕向量(C)であり、輸入量=国内供給量(A)-(C)である。これによると、1930年代の水産物は食用需要を大きく上回る供給量の下で、かなりの数量が輸出されていた。また、卵類・肉類も僅かな国内生産の中で、食用需要が賅われていた。まさに、この時代は魚食中心の年代であったと云えるが、1960年代のいわゆる高度経済成長期以降の短期間に、食料需給関係は激変している。この間の詳細は木幡他

(1990)で述べた通りである。ここでは、仕向別統計が整備された1962年以降の資料から、仕向別需給関係の変化に注目する。

水産物国内供給量は、1955年以降1989年現在に向けてほぼ直線的に増大し続けている。これに準じた増大傾向を辿るのは非食用仕向量である。食用仕向量も増大傾向を示すものの、前者ほどではない。この内、加工食品仕向量は1972年以降の増加率が鈍化した。1981年以降再び高くなった。また、生鮮・冷凍仕向量は1977年以降の増加率が鈍化した。1983年以降再び増大傾向に転じた。

一方、競合食品と目される卵類は、1955～1970年の急増期とそれ以降の漸増期に分かれる。また、肉類は1955～1979年の急増期とその後の鈍化の傾向が認められる。そして、これらも前者が1986年、後者が1985年を境に若干増大傾向を示している。

このように、わが国の動物性食品に対する需要は1970～1971年と1976～1979年、そして1981～1986年という三つの節目をもちながら、近年目まぐるしく変化している。現代は飽食時代と云われるが、これに従い順に飽食第一期、同第二期、同第三期と呼ぶことにしよう。そして、

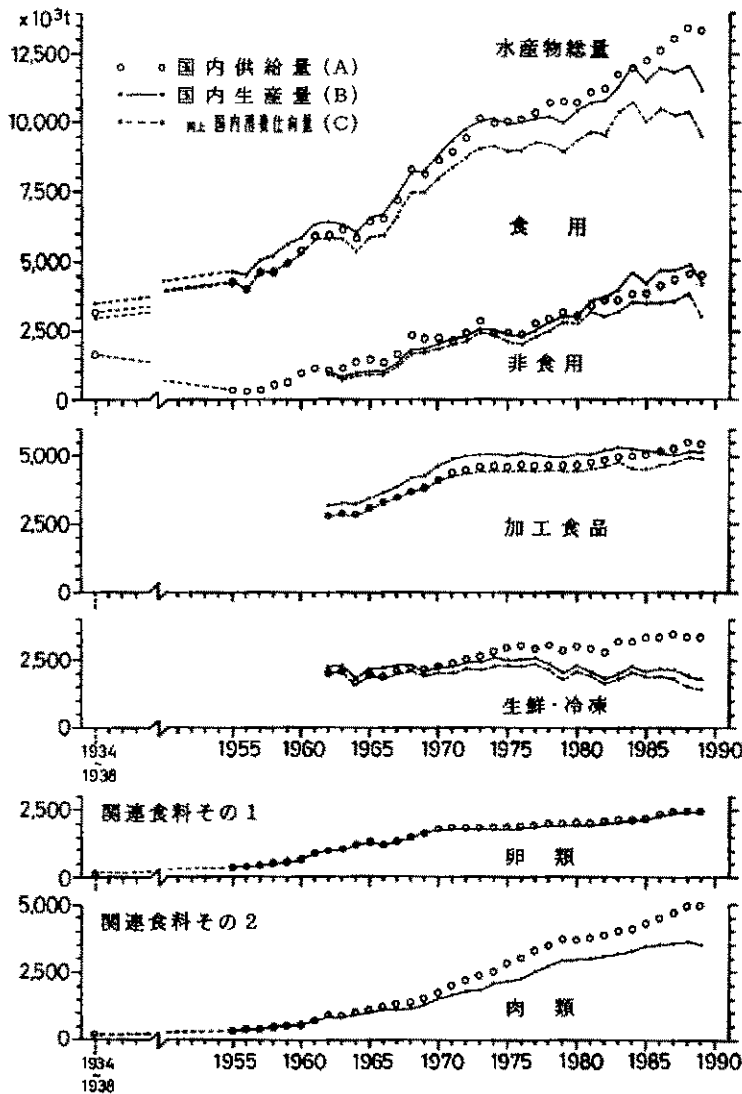


図3 主要食料国内需給関係の経年変化

第一期は塩干・練製品や鶏卵等の一般惣菜の充足期であり、第二期が生食・冷凍えびや肉類等かつての“晴れ食”用菜の“日常食”化が定着した年代に対応するものと見ることができる。しかし、飽食第三期の消費のさらなる増大は不可解であり、要因解釈は現在不透明のままである。

ここで、本題に係わる需給動向として注目されるのが生鮮・冷凍仕向量である。同仕向量の国内供給量は、1962年当初の200万tから1976年の300万tまでの増加と1982年までの横這い、そして1983年以降の漸増傾向で1989年現在350万t弱に達している。これに対して、国内生産量の内の国内消費仕向量は、1962年当初から1971年までの200万tを前後する横這いと最大値となった1977年の240万tに向かう増大というように、この間若干の増加傾向を示している。しかし、その絶対値は国内供給量の増に比べれば小さな規模に留まっている。そして1978年以降、ついに国内産の生鮮・冷凍仕向量は漸減期に転じてしまい、1989年現在で180万tまで下降している。すなわち、近年における生鮮・冷凍供給量は、国内産を駆逐しながら増大し続ける輸入品によって、その水準が維持されている。

以上のことから、わが国全体の生鮮・冷凍需要は1962年当初から既に満たされていたが、飽食第二期の1976年以降その上限を、輸入えびに代表される高価格水産物によって、さらに更新し続けているものと云えよう。そして、小田原魚市場の生産者魚価が飽食第二～同第三期にかけて混乱している等、水産物供給過剰の影響が最高価格帯の品目にまで及んでいることは明らかである。

また、このような有り余る物流条件下においては、消費量の限界の枠内で、利鞘のより大きい高価な商材が選択的に流通することは、至極当然なことであろう。これが表2で示した異常な低価格帯の品目を増大させている主要因であると結論付けられる。

まとめ

前回の解析結果と今回の結果を併せ、魚価動向に見る沿岸漁業不振の主要因と打開策という視点で、以下に総括する。

[1977年時点の解析による結論]

1. 直接的な主要因

過去25年間に、総生産量の8割強に及ぶ僅かな数の優占種で実質価格の大暴落が起こったこと。

2. 間接的の主要因

1970年頃、卵や水産加工食品など“日常食”の国内供給量が需要量を上回るようになったこと。続いて、1975年には生鮮・冷凍水産物も供給過剰になったこと。

すなわち、史上初めてと言われるわが国の飽食時代はこの頃始まったと推定される。このような食品流通条件下では、所得向上と相まって利鞘の少ない低価格水産物から生鮮食料仕向を外され、これが優占種大暴落の背景的要因になったと推察された。

3. 基本的打開策

食用・加工用など、同一仕向の生産者魚価は対数正規分布に近似すること。

すなわち、大半が生鮮食料仕向であった1950年代半ばまでの分布型がこれに該当する。しかし、現在は生鮮・加工・非食用仕向等を含む複合分布型になっており、モードの下位階級で裾野を大きく広げている。したがって、経営不振打開のメインテーマは“優占種の大衆化”にあると結論された。前2項の優占種離れは、流通サイドのニーズという形で先行して起こり、消費者ニーズはこれに追従する形で定着したと考えられる。一方この頃、生活協同組合活動や産直運動が活発化しており、消費者サイドの流通が拡大し、定着した。そして、稀有な成功例ではあるが、これに見事に応答した生産者サイドの流通が若干誕生している（例えば、江川 1988）。この事実は漁業の現状打開の可能性を予測する上で、極めて有力な情報と云える。

[今回の解析による結論]

1. 直接的な主要因

前報に同じ。

ただし、価格分布のモードは1983・'84年まで物価にスライドする形で上昇し続けた。しかし、1985・'86年以降のモードは1階級下降して定着した。これは、価格低下が1970年代半ば頃から高価格帯を含む全ての種類で起こり始め、1985・'86年以降顕著になったためである。半面、高価な希少種や特殊な銘柄で価格は依然として上昇し続けている。

2. 間接的の主要因

前報に同じ。

ただし、生鮮・冷凍消費量は1978年頃から国内産を駆逐しつつ輸入物と置替わっている。これに対応するように、肉類消費量も停滞している。すなわち、この年代が“晴れ食”用菜の供給が満たされ、これらの“日常食”化が進んだ時期と推定される。しかし、1985年以降の各

類別の増加傾向にみるように、新たな消費拡大が再び始まっている。原因は不明であるが、前項の生鮮食料仕向魚の価格低迷はこれと密接に係わっているものと推察される。

3. 基本的打開策

前報に同じ。

ただし、高付加価値化の理論的目標値を得るため、食用仕向の価格分布を基準とした価格帯を $M \pm n$ と定義し、各価格帯に含まれる種名・銘柄を一覧で整理した。ここで、 M はモードであり、かつ下位階級の度数が上位階級と同じ度数をとるとの仮定で M を求めた。

すなわち、目的魚の高付加価値化は価格帯のランクアップが基本的に重要である。例えば、マアジの銘柄あじは1953・'54年に $M - 2$ にランクされていたが、1965・'66年に $M - 1$ へ、そして1983・'84年には $M + 1$ へと昇格した。これは周知の如く、本銘柄の主用途の変化を反映しており、前期が一般惣菜用の大衆魚、中期が生食用としての“たたき”の登場初期、そして後期がその定着期に対応している。因に、高付加価値化の一般原則は、餌飼肥料仕向<練り製品原料仕向<節・塩干加工原料仕向<一般惣菜仕向<鍋物・刺し身仕向と言える。

以上のように今報の意図は、漁業をとりまく経済情勢

が近年一層深刻の度を増していることを明示することにあつた。しかし、より深刻な問題は、多くの漁業に共通することとして、事態を敏感に感知できる供給体制にはほど遠い体質のまま据え置かれてしまった生産現場の現状に大きな危機感を抱かざるを得ない、という点にあるのかも知れない。

文 献

- 江川公明(1988): 千倉町南部漁協販売(株), 神奈川水試視察報告ゼロックス資料.
- 木幡 孜(1979a): 定置網漁況からみた相模湾の生産性に関する考察 - 1, 経済的生産性の現状と問題点, 相模湾資源環境調査報告書, 神奈川水試・同相模湾支所, 93 - 103.
- 木幡 孜(1979b): 定置網漁況からみた相模湾の生産性に関する考察 - 2, 主要種生産者価格の年変動傾向について, 相模湾資源環境調査報告書, 神奈川水試・同相模湾支所, 105 - 115.
- 木幡 孜・石戸博範(1990): 食料生産産業相互間に見る漁業の特徴, 神水試研報11, 47 - 58.
- 農林水産省統計情報部(1956~1991): 食料需給表, 昭30~平. 1, 農林統計協会, 東京.

付表 相模湾, 米神定置網売上日報による種別・銘柄別価格表 円/kg (木幡1979bに続く)

ただし, 銘柄No. は前報に統一し, 呼称は一部修正した。また, アルファベットは新規追加分を示す。

No	銘柄	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
1	さめ	66	77	57	35	64	28	23	32	54	29	12	50	51	35
3	アオサメ	-	-	-	11	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-
4	もんじざめ	10	-	20	-	18	-	-	-	100	17	25	-	-	-
5	おながざめ	79	99	63	45	63	87	67	44	49	45	41	54	64	128
6	ヨシキリザメ	25	15	-	-	-	-	20	27	-	-	-	-	-	-
7	からすざめ	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	えい	50	-	38	12	54	-	-	-	100	188	50	100	-	50
12	イトマキエイ	108	-	-	-	-	25	25	-	-	-	-	-	-	-
13	コノシロ	108	104	109	260	145	195	195	167	309	-	76	-	420	100
14	ウルメイワシ	335	157	387	337	193	677	769	214	457	431	207	381	156	536
	中・大	592	585	633	925	906	952	1,293	895	631	767	603	703	1,020	941
	うるめ	454	327	385	380	512	668	839	418	276	360	271	380	229	476
	小うるめ	251	77	-	78	106	362	459	64	-	-	19	120	12	74
a	キビナゴ	-	123	-	-	769	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	マイワシ	13	38	17	9.6	19	20	27	66	14	12	26	22	15	36
	大いわし	105	154	119	222	40	29	41	148	61	69	239	41	15	69
	いわし	18	41	40	60	14	18	13	50	11	8.3	23	26	-	10
	平子	12	9.1	7.6	7.5	9.3	10	3.8	20	-	3.1	-	2.7	-	21
16	サツバ	221	73	350	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	カタクチイワシ	76	51	25	182	91	84	69	80	72	53	123	55	17	141
18	ます	2,000	1,508	1,100	1,900	2,000	3,000	2,832	1,500	2,000	-	3,000	-	2,000	300
19	さけ	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	2,383	-	-	-	-
20	はだかいわし	11	20	50	19	-	-	20	31	118	-	334	-	-	50
b	はも	236	262	220	167	302	390	170	34	381	76	-	103	-	2,500
c	あなご	236	262	259	211	438	369	238	280	137	57	73	94	137	70
22	だつ	-	42	36	-	140	48	213	-	100	24	64	50	-	-
23	サンマ	230	101	88	152	290	374	280	-	300	189	-	315	-	495
24	サヨリ	1,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,500	2,692
25	とびうお	409	417	448	675	694	704	768	494	235	404	777	879	592	772
26	やがら	1,332	1,859	1,967	2,004	1,961	1,452	1,889	1,499	2,777	2,289	3,337	1,797	1,114	1,829
	大	2,700	4,000	-	-	-	4,000	4,000	4,000	5,580	4,669	5,595	5,264	5,110	5,154
	やがら	1,564	2,132	2,294	2,515	2,783	2,442	2,459	1,762	2,736	2,313	2,358	2,272	1,847	2,890
	小	673	973	948	1,205	904	628	941	753	1,030	1,289	815	685	335	719
27	ハンキンメ	24	297	249	190	362	440	-	252	122	206	71	280	719	415
d	キンメダイ	-	-	-	-	1,050	355	-	-	357	278	1,034	-	-	-
29	アカマンボウ	-	-	-	-	200	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	マトウダイ	576	697	796	1,088	975	1,093	1,321	1,003	1,179	1,533	1,158	1,069	1,241	1,000
	大	998	1,000	1,333	1,436	1,180	1,207	1,791	1,162	1,340	1,533	1,276	1,069	1,358	1,500
	的だい	454	670	729	984	785	818	1,172	560	647	-	462	-	500	500
31	ボラ	255	328	382	179	631	509	578	506	525	499	560	498	664	529
	大	1,000	-	-	-	1,007	932	1,224	988	-	926	1,167	1,068	916	1,016
	ぼら	255	326	382	179	570	486	558	493	556	402	521	493	689	464
	小	-	-	-	-	-	-	-	129	212	179	146	158	156	165
32	メナダ	144	-	-	200	-	-	-	333	-	-	-	-	-	-
33	スギ	100	290	250	421	-	-	480	754	549	505	500	86	-	-
34	アカカマス	1,419	903	1,352	1,531	1,727	824	1,728	561	892	975	881	623	775	466
	大がます	2,184	1,009	1,800	2,181	2,231	2,022	2,206	1,689	1,601	1,821	2,282	1,775	2,004	2,247
	ねいら	1,322	617	1,349	1,279	1,593	631	1,045	468	830	857	812	535	674	409
35	新・小かます	716	440	1,288	994	1,028	514	640	372	264	440	525	307	613	442
36	ヤマトカマス	1,074	603	1,174	1,474	1,087	742	1,060	702	484	924	666	756	678	307
37	しいら	108	332	222	533	379	325	281	617	484	313	186	558	465	498
	大	600	730	659	716	916	854	853	973	1,000	1,000	-	-	1,171	-
	しいら	-	358	225	453	554	359	547	618	531	557	567	558	566	504
	小	74	43	47	-	72	79	35	43	13	25	102	-	16	50
38	しまがつお	120	136	74	140	155	146	51	99	75	100	108	84	95	96
41	まぐろ	-	-	2,248	-	-	4,165	3,000	3,901	-	3,500	-	3,716	-	4,310
42	めじ	1,208	1,471	1,031	1,242	1,968	1,436	1,329	1,826	1,478	1,463	1,667	2,608	1,501	2,114
43	きわだ	-	-	2,000	2,786	2,500	3,000	3,474	1,444	-	-	-	-	5,000	-
44	きめじ	-	-	-	1,271	2,375	800	1,299	2,333	3,253	-	-	-	-	867
45	ハガツオ	1,033	602	1,156	1,095	692	1,189	771	1,054	1,079	1,050	1,083	846	989	976
e	イソマグロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	-	-	-
46	スマ	400	-	111	600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47	カツオ	400	246	361	1,007	945	1,348	100	635	675	1,377	504	800	338	296

付表 つづき

№	銘柄	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
48	ヒラソーダ	187	208	221	192	332	156	165	171	241	381	239	355	185	118
	大ソーダ	683	595	-	328	441	468	429	467	499	872	507	531	852	535
	ソーダ	189	205	221	157	311	138	146	151	207	290	233	308	155	110
49	うずわ	111	122	123	134	156	102	77	69	59	85	81	38	54	47
50	さば	38	38	64	56	89	92	41	25	71	41	103	330	567	195
	大さば	237	160	402	343	385	472	334	323	340	536	419	770	769	1,099
	中・さば	28	39	55	161	91	221	57	125	136	96	136	318	562	569
	小さば	38	28	62	57	89	48	30	19	31	40	37	79	72	18
	さばっ子	5.3	6.0	6.8	4.4	4.7	13	14	5.3	16	0.93	-	-	-	-
52	サワラ	1,753	1,698	1,876	1,753	1,764	1,311	1,786	1,504	1,900	2,057	2,326	1,586	2,531	2,413
	さわら	1,757	1,754	1,878	1,779	1,891	1,317	1,920	1,517	1,986	2,104	2,409	1,589	2,548	2,726
	さごし	600	843	1,030	552	975	1,221	918	927	741	1,095	1,290	1,283	1,797	1,705
53	カマスサワラ	830	1,010	1,211	1,214	1,598	1,365	1,531	1,418	1,048	1,117	1,072	1,335	1,161	1,485
55	ナガダチカマス	-	-	-	1,500	466	789	-	-	-	-	-	-	-	-
56	すみやき	200	18	4.3	5.5	7.6	8.7	33	281	11	114	22	89	81	5.0
57	タチウオ	429	393	794	359	522	381	288	412	575	491	766	369	601	523
	大	764	1,191	947	918	1,173	991	1,076	1,072	1,246	1,202	1,307	1,341	1,401	1,431
	たち	427	461	796	717	378	317	242	340	773	516	631	462	548	639
	小	177	250	346	65	42	70	71	115	281	157	128	104	263	150
58	マカジキ	500	-	1,796	-	-	2,163	3,360	-	-	-	-	-	-	-
59	クロカワ	-	-	-	-	-	-	1,292	-	-	-	-	-	-	-
60	シロカワ	1,000	1,309	800	1,173	-	1,569	-	1,300	1,500	1,100	-	800	-	-
61	バショウカジキ	848	986	998	300	-	1,073	1,184	-	512	500	-	-	624	777
62	メカジキ	-	928	700	820	1,287	995	-	600	850	1,200	800	-	-	-
63	マルアジ	718	544	709	771	380	328	663	198	75	107	281	154	16	42
64	アカアジ	492	442	555	404	691	611	526	200	63	267	230	264	300	113
65	オアガムロ	578	218	159	788	466	182	180	56	700	33	77	389	-	-
66	モロ	240	65	163	165	258	275	340	180	80	58	156	255	50	156
67	アカゼ	-	-	379	-	-	-	-	333	32	100	-	911	800	545
68	マアジ	1,321	1,320	1,468	1,791	1,640	1,922	1,954	2,356	250	213	809	442	422	266
	大あじ	1,167	1,149	1,179	1,189	1,075	1,219	1,304	1,311	1,145	1,747	731	1,630	1,538	-
	中あじ	1,340	1,533	2,011	1,744	-	2,645	2,459	2,819	2,185	1,443	1,751	1,784	1,618	1,691
	あじ	1,322	1,328	1,483	1,900	1,765	2,202	2,074	2,427	1,943	182	951	1,317	425	942
	小あじ	1,553	2,136	1,442	1,421	1,802	949	1,383	1,635	130	564	509	301	303	194
	じんだ	1,170	1,355	1,189	1,972	1,147	1,045	1,500	1,627	648	344	983	1,395	444	603
69	メアジ	1,116	997	956	1,251	1,110	888	1,043	871	113	559	312	512	260	225
70	ナガエバ	440	1,249	1,036	-	-	526	922	-	700	433	250	-	280	350
71	シマアジ	3,500	-	3,715	-	-	-	4,524	-	4,000	-	6,000	-	3,500	-
72	カイワリ	2,026	2,081	2,181	2,043	2,431	2,095	2,047	2,053	1,430	1,515	2,372	2,341	1,915	1,341
	大	2,400	-	-	-	-	-	3,183	3,315	2,696	3,964	3,595	3,296	4,277	-
	角あじ	2,070	2,081	2,181	2,043	2,431	2,095	2,047	2,089	2,535	1,987	2,568	2,273	2,696	2,636
	小	1,657	-	-	-	-	-	1,349	578	897	1,483	1,448	1,083	891	-
73	オキアジ	1,567	1,366	1,252	1,159	1,605	1,557	1,536	2,000	626	1,399	1,133	1,515	894	1,096
74	イトヒキアジ	119	170	160	179	203	128	155	118	75	206	108	162	75	76
75	ブリ	1,562	1,033	1,251	1,215	1,103	1,447	1,833	2,150	768	1,897	1,179	838	491	501
	ぶり	1,585	1,031	1,258	1,252	1,102	1,596	2,307	2,260	2,973	2,127	1,349	1,710	1,300	1,731
	わらさ	1,040	929	1,009	853	1,333	1,090	1,471	1,405	879	828	760	1,772	1,938	2,771
	いなだ	1,000	1,071	633	1,259	1,705	1,064	1,559	1,481	669	1,440	551	1,035	593	480
	わかなご	525	523	288	282	776	639	776	756	656	786	130	379	216	401
77	ヒラマサ	1,409	1,590	1,546	1,971	1,757	1,622	1,965	2,342	2,273	2,446	2,218	2,035	2,890	2,500
78	カンパチ	2,395	1,934	2,409	2,398	2,548	2,460	1,731	1,741	2,174	2,456	1,666	2,363	1,933	1,846
79	ひいらぎ	-	184	-	-	262	-	50	-	-	-	75	-	-	25
80	メダイ	-	-	-	-	1,475	-	-	1,500	1,000	-	-	-	-	-
82	イボダイ	2,741	2,569	2,780	1,692	1,956	3,068	1,325	2,061	2,619	313	1,051	1,289	1,623	1,660
	大	3,177	3,250	3,093	-	3,538	-	-	-	-	-	4,000	-	-	2,373
	いぼだい	2,388	2,471	2,756	1,692	1,910	3,068	3,028	3,833	2,946	1,035	1,365	1,897	1,659	2,011
	小	-	-	1,235	-	1,263	-	1,023	1,175	1,200	256	730	367	834	667
f	マナガツオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	2,000	-	-
83	タカベ	367	223	417	198	340	761	231	233	-	52	29	76	21	-
84	むつ	542	1,105	1,157	1,133	1,105	1,295	1,321	671	1,265	429	997	1,347	1,414	1,248
	むつ	723	1,249	1,170	1,469	1,240	1,343	1,395	1,500	1,643	1,373	1,462	1,703	1,603	1,669
	小むつ	108	535	700	494	336	703	880	235	251	212	453	364	290	486

付表 つづき

No	銘柄	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	
85	きんとき	789	353	866	217	338	154	478	420	20	393	740	635	720	812	
	大 きんとき	1,733 731	2,000 153	1,966 343	- 217	1,500 332	- 154	2,500 463	1,188 362	1,050 18	1,345 315	1,148 681	882 404	1,727 518	1,042 511	
86	すずき	855	1,159	1,502	1,081	1,076	1,787	1,435	1,405	1,194	2,174	2,328	1,631	2,014	2,086	
	すずき せいご	856 500	1,159 -	1,502 -	1,081 -	1,076 -	1,785 1,833	1,444 1,199	1,406 1,000	1,197 750	2,174 -	2,342 700	1,645 700	2,032 750	2,086 -	
87	ヒラズズキ	1,870	2,142	2,105	2,073	-	1,941	-	-	-	-	-	-	-	-	
90	はた	2,500	3,499	2,919	2,813	2,675	2,780	3,214	2,875	3,426	4,209	5,781	6,794	8,598	8,136	
	アカハタ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	-	-	-	5,000	
	h アカイサキ	-	-	-	500	-	-	-	-	-	643	200	-	-	-	
91	アカムツ	1,020	1,725	1,531	2,000	1,855	1,738	1,776	1,500	2,175	-	3,164	2,788	3,500	4,000	
92	マンダイン	2,494	1,912	2,392	3,533	1,808	2,828	2,949	2,108	4,000	2,841	-	2,591	2,810	2,333	
94	しまいさき	652	355	237	358	521	365	616	50	116	95	75	55	100	153	
95	イサキ	1,156	1,065	1,183	478	740	877	1,226	1,409	1,333	291	1,147	151	382	1,233	
	大 中 いさき 小	2,783 1,531 604 353	3,168 1,064 502 268	3,243 1,819 725 274	4,022 1,146 478 245	4,056 2,973 1,225 140	5,277 3,333 1,325 481	5,038 3,370 1,182 449	5,111 2,748 1,227 103	5,567 2,787 727 266	5,362 2,398 704 125	6,322 1,768 1,026 266	5,703 1,802 557 52	4,510 2,199 608 183	6,215 2,457 1,188 593	
96	コショウダイ	1,572	1,093	1,235	1,430	1,422	1,714	1,111	1,867	917	1,470	1,579	1,714	2,423	2,420	
	i ヒゲダイ	-	-	-	-	800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
97	いとより	-	-	-	2,022	2,214	1,919	2,032	2,532	3,023	1,800	1,533	2,288	2,667	3,321	
98	メイチ	2,875	2,500	2,927	3,108	2,750	2,843	3,968	-	2,214	3,410	3,600	2,990	3,701	3,393	
99	クロダイ	1,575	1,687	1,801	1,744	1,691	1,771	1,688	2,209	1,878	2,352	1,770	1,596	2,438	2,500	
	j キビレ	-	-	-	-	-	-	-	1,102	1,000	-	-	-	-	-	
100	ヘダイ	3,348	2,187	2,766	3,029	3,114	3,660	2,773	2,382	1,760	-	-	3,163	2,191	3,573	
101	たい	3,358	2,366	3,387	3,271	2,972	3,997	3,287	2,584	3,771	2,552	3,180	4,087	3,070	3,486	
	大 中 たい 小 ちび	- 6,500 3,364 3,358	- 6,500 3,239 2,016	- 6,000 3,406 2,803	- -	5,357 3,453 2,925	- 3,285 2,501	- 4,152 3,396	1,500 4,508 2,619	3,292 2,679 2,206	2,641 8,297 3,731	2,641 11,500 2,540	8,442 6,124 3,102	7,640 8,442 3,815	10,094 2,199 3,033	2,420 4,358 2,957 1,000
102	ふえふきだい	-	918	1,500	2,860	1,598	1,528	667	-	-	-	-	740	1,811	2,157	
	k テングダイ	-	-	-	-	250	-	-	-	-	-	83	-	-	-	
103	めじな	640	738	810	1,124	874	685	404	986	471	431	265	750	433	708	
104	いしもち	518	661	761	680	756	798	856	648	107	-	-	-	1,184	-	
106	インガキダイ	1,850	3,500	-	3,000	3,143	3,719	3,362	833	4,000	757	3,128	3,016	2,057	3,310	
107	インダイ	2,347	2,301	2,453	2,114	2,609	2,793	2,823	2,582	2,757	2,704	2,732	2,758	2,478	2,842	
	石だ い 小 ちび	2,352 1,007	2,334 1,236	2,466 1,277	2,157 1,643	2,637 1,838	2,825 2,166	2,908 2,420	2,867 1,845	2,762 1,845	2,742 1,048	2,748 1,431	2,797 1,893	2,481 1,972	2,882 2,014	
108	ヒメジ	200	-	-	-	-	-	23	20	-	-	-	-	-	-	
109	タカノハダイ	200	270	200	100	250	292	225	364	100	50	296	667	-	200	
110	キス	1,000	1,435	1,000	1,975	2,046	2,328	1,604	1,740	2,147	2,045	1,791	1,938	1,750	3,167	
111	あまだい	-	-	1,833	2,208	3,250	3,000	2,948	2,803	3,071	4,000	5,000	3,015	3,000	3,000	
	l たなご	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	40	
112	ぶだい	250	300	77	200	118	400	500	143	1,038	458	1,000	850	-	-	
	m かんだい	-	-	-	-	-	-	-	-	1,235	-	1,225	-	2,125	2,319	
	n べら	-	850	-	-	-	-	854	-	500	-	-	-	-	-	
	o ツバメウオ	-	-	-	-	83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
113	カゴカキダイ	200	32	36	270	104	113	51	33	-	-	150	33	118	135	
114	ニザダイ	574	480	325	-	605	890	1,000	-	541	-	-	300	400	500	
115	アイゴ	-	60	-	-	95	-	83	25	45	24	182	121	-	20	
116	めばる	1,065	1,255	1,423	1,413	1,726	1,601	1,378	1,015	880	2,767	1,423	1,547	615	3,500	
	p せい	-	-	-	1,683	2,115	2,119	2,784	2,500	3,250	-	-	-	-	2,000	
118	かさご	950	1,256	858	1,500	1,013	1,375	1,157	1,416	1,420	1,921	1,768	1,936	2,038	2,410	
	q おこせ	-	-	-	-	-	-	-	-	333	-	-	-	-	-	
	r アイナメ	-	-	100	300	-	167	-	-	500	600	-	-	-	-	
120	ホッケ	-	-	-	500	333	-	320	-	333	500	-	-	-	-	
121	ごち	700	217	430	367	477	484	342	355	320	340	301	229	208	532	
122	ホウボウ	1,302	1,116	1,000	1,436	1,756	1,978	2,122	2,063	2,144	2,049	2,424	1,678	2,124	2,753	
	大 ほうぼう 小	- 1,334 602	1,975 1,320 772	1,955 986 753	2,035 1,414 1,044	2,469 1,844 774	2,460 1,962 1,146	2,642 2,116 1,208	3,058 2,022 1,471	3,000 2,203 1,219	3,463 2,169 1,196	3,484 2,427 1,236	3,086 1,785 630	4,303 2,122 1,454	4,185 2,773 1,347	
123	カナド	100	-	169	244	275	-	286	68	159	-	300	-	-	-	
124	エゾイソアイナメ	-	-	48	-	100	41	88	122	123	86	92	111	93	100	
r	スケトウダラ	-	-	-	-	1,000	-	125	-	-	-	-	-	-	-	

付表 つづき

No	銘柄	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
125	ヒラメ	3,188	3,573	3,627	3,201	3,928	4,948	4,900	4,058	4,927	5,993	6,358	5,882	5,611	5,008
	中 大・ヒラメ そば	4,200 3,210 2,339	4,725 3,482 2,616	4,895 3,568 2,851	6,677 3,167 2,216	6,381 3,836 3,100	8,476 4,924 1,167	7,872 4,860 3,435	5,986 4,160 1,901	8,444 4,907 2,989	10,000 6,093 3,218	11,000 6,236 2,773	8,314 5,297 2,892	7,671 5,660 3,549	7,259 5,225 3,607
s	したびらめ	-	-	1,180	-	1,067	1,417	-	1,557	1,336	1,000	1,000	1,250	2,250	1,808
127	メイタガレイ	1,520	1,823	1,891	2,246	2,159	2,375	2,437	2,293	2,702	2,605	2,745	2,634	2,720	3,114
128	かれい	1,435	-	2,083	-	2,200	2,103	2,266	2,380	1,766	2,640	3,112	3,000	3,096	3,500
130	カワハギ	331	521	639	812	727	701	589	495	544	536	727	527	803	663
	大 はぎ 小	1,036 777 235	1,175 758 264	1,066 594 327	1,147 843 376	1,224 770 323	1,376 980 329	1,084 761 317	1,085 535 193	1,217 779 168	1,193 745 207	1,530 837 270	1,899 799 129	1,827 906 301	1,592 833 252
131	ウマヅラハギ	30	26	32	88	216	16	25	33	44	24	24	62	44	47
	大 中 小	72 21 11	112 38 10	100 38 13	115 83 -	231 154 6.7	130 120 3.6	127 46 14	158 88 25	142 70 20	148 30 14	135 110 8.0	101 48 21	156 37 28	245 193 27
132	ウスバハギ	375	264	279	642	404	478	354	765	613	666	503	632	367	282
	大 白うま	1,000 360	- 264	- 279	- 642	- 404	- 478	1,000 358	933 589	729 459	857 660	922 494	1,028 656	907 356	933 279
133	さばふぐ	197	92	164	187	111	73	270	180	190	167	262	236	210	411
	大 ふぐ	227 193	104 81	186 145	210 50	235 107	224 58	285 173	297 112	271 190	218 164	334 233	406 228	341 205	514 403
t	ヨリトフグ	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-
134	トラフグ	1,000	1,355	3,409	7,000	2,810	1,924	4,400	2,706	2,754	2,310	4,512	3,938	9,151	7,701
135	マンボ	-	820	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
136	あんこう	32	56	414	190	757	691	425	332	186	273	582	1,173	211	50
137	スジイカ	211	205	83	63	298	78	61	189	87	161	143	37	51	35
138	バカイカ	407	241	179	348	436	321	158	270	355	296	223	308	70	130
139	スルメイカ	1,025	1,266	882	765	1,125	936	998	1,474	1,134	1,097	1,020	896	787	1,118
	まいか 小さいか	1,316 727	1,365 785	1,275 646	1,029 496	1,188 775	1,161 727	1,161 728	1,551 1,062	1,445 779	1,166 570	1,050 829	939 696	790 672	1,245 703
141	ヤリイカ	1,542	1,828	2,158	1,261	2,429	1,562	2,213	2,480	2,103	2,129	2,500	2,302	2,109	2,745
	やりにか 小	1,542 2,057 1,695	1,828 2,230 1,829	2,158 1,261 -	1,261 2,429 -	1,562 1,681 1,327	2,213 2,475 1,397	2,480 2,539 1,483	2,103 2,516 1,273	2,129 2,288 1,940	2,500 2,687 910	2,302 2,503 1,033	2,109 2,322 1,542	2,745 3,092 1,067	
142	アオリイカ	1,720	1,654	1,766	1,899	1,794	1,953	2,046	1,545	2,123	2,216	2,160	2,260	2,263	2,989
	羽正いか 小	1,720 -	1,654 -	1,766 -	1,899 -	1,794 -	1,953 1,584	2,046 1,364	1,545 1,038	2,123 1,298	2,216 1,179	2,160 1,265	2,260 1,172	2,263 1,083	2,989 1,410
143	コウイカ	1,413	1,051	1,284	1,304	1,339	863	829	890	1,019	1,259	1,178	853	770	703
	甲いか 小	1,413 -	1,051 -	1,284 800	1,304 833	1,339 886	863 478	829 -	890 688	1,019 522	1,259 714	1,178 567	853 489	770 483	703 600
u	ハリイカ	-	-	-	-	-	-	800	-	1,000	-	-	-	-	-
144	ソデイカ	1,426	1,704	1,748	1,637	1,752	1,231	925	2,250	1,167	2,000	1,481	2,003	496	240
145	ケンサキイカ	1,602	1,466	1,205	939	1,326	1,326	1,751	2,270	901	2,306	2,170	1,760	2,495	1,405
	赤いか 小	1,602 -	1,466 -	1,483 939	1,305 702	1,326 -	1,326 -	1,751 -	2,300 1,575	2,456 668	2,648 1,096	2,400 1,138	2,362 1,166	3,466 1,045	2,297 891
v	ホタルイカ	-	-	-	-	-	-	1,468	-	-	-	4,080	3,222	-	-
146	マダコ	1,714	800	1,395	1,814	2,100	-	1,316	2,000	1,000	-	-	-	1,250	-
147	クルマエビ	6,333	8,066	7,729	10,979	9,227	8,479	9,085	9,907	7,528	7,606	7,819	8,806	8,306	5,895
148	クマエビ	3,026	4,032	4,323	4,430	4,500	3,158	4,215	4,308	1,789	3,242	2,734	2,333	2,520	2,429
150	イセエビ	-	-	7,263	7,500	5,333	4,500	-	-	-	-	-	-	-	-
w	サクラエビ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150
151	かに	1,000	1,000	1,533	-	500	-	3,333	-	833	1,333	2,115	-	-	-
152	いるか	-	-	-	328	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
x	アカボウクジラ	-	132	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
y	ツチクジラ	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
154	口物	545	1,650	1,085	791	585	420	341	-	1,036	-	-	-	-	-
155	雑	102	112	110	170	150	123	146	99	68	28	110	282	189	-